

## ホロコースト犠牲者を想起する国際デーに向けて高等弁務官が声明

2019/01/25

### 国連人権高等弁務官事務所

1月27日のホロコースト犠牲者を想起する国際デーに向けて、バチエレ人権高等弁務官が声明を発表した。内容は以下のとおり。現在、反ユダヤ主義やマイノリティに対する身体的暴行やハラスメントなど、様々な形態の憎悪が急増している。国の指導者が積極的に支援している場合もある。同時に、ホロコーストを防止・拒絶しようとする努力も続いている。我々はこうした憎悪が常態化しないよう団結しなければならない。徐々に増大する反ユダヤ主義、外国人排斥、特定のカテゴリーの人々から人間性と権利を奪おうとするその他の試みに対抗しなければならない。ホロコーストはガス室から始まったのではなく、憎悪は言動・ステレオタイプ・偏見から徐々に発展したものだとする指摘もある。20世紀の教訓を想起すべき時である。人権の保護と差別の中止を指導者に求めることによって初めて、迫害とジェノサイドが再発しないことを真に確保することができる。